

第2回市民ファンド研究会のお知らせ

人も地域も育む市民ファンドとは？

日時：2014年6月19日(木)14時00分～17時15分 場所：新横浜

1. 市民ファンド研究会の目的

10年以上前から、資金面等で「民」が「民」を支援する市民主体の仕組みが全国に広がりつつあります。呼称や態様はいろいろありますが、私たちはこれを「市民ファンド」と呼んでいます。

市民ファンドは、規模は小さくとも、身近に存在することで、NPO活動の資金源を多様化させ、市民社会の創造の推進力となることが期待されています。しかし、現状を見ると、その認知度はまだまだ低く、多くは思うように寄付が集まっていない状況です。

そこで、このような状況を打開するため、市民ファンド関係者及び市民ファンドに関心のある人たちが集い、特徴的な市民ファンドの事例について、設立時の取り組み、寄付集め、助成団体の選定・評価、支援者参加型の運営などの視点から意見交換を行い、市民ファンドの経営力のアップと市民ファンド関係者間のネットワークづくりを行い、日本社会に普及・定着していくことを願って、2014年は年4回、テーマを設定し、市民ファンド研究会を開催することにしました。

2. 研究会の主催・共催・協力

主催：市民ファンド推進連絡会 共催：NPO法人市民社会創造ファンド
協力：公益財団法人神奈川生き生き市民基金、認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド

3. 第2回研究会のテーマ：「人も地域も育む市民ファンドとは？」

4. 第2回研究会の論点

現在、全国各地の特定地域（コミュニティ）で地域課題全般を対象とした市民ファンドが様々な活動をしています。これらの市民ファンドは寄付や助成の仕組みを備える一方、地域（コミュニティ）固有の課題を顕在化させる役割を担っており、各市民ファンドの進め方・戦略は地域毎の特色を活かして取り組まれています。第2回研究会では、地域（コミュニティ）及び地域課題全般を対象とした市民ファンドのあり方について考えたいと思います。

まずは基調報告として地域を大きな視点で捉え、「市民ファンドを日本社会へ普及・定着させるには何が重要か」についてお話しいただき、次に二つの地域（コミュニティ）を対象にした先駆的な事例を報告いただき、参加者の皆さんと共に、「人も地域も育む市民ファンドとは？」について議論したいと思います。

5. 日時・会場

日時：2014年6月19日(木)14時00分～17時15分

会場：スペース・オルタ（横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館B1）

※アクセス <http://spacealta.net/#map>

※JR新横浜駅徒歩7分。会場は神奈川生き生き市民基金の協力を得ています。

6. 当日の流れ

14 : 00	開 会
14 : 00～14 : 05	研究会の進め方の説明
	進 行 坂本憲治 (NPO 法人市民社会創造ファンド)
14 : 05～14 : 50	基調報告「市民ファンドを日本社会へ普及・定着させるには」(仮題)
	報 告 者 深尾昌峰 (公益財団法人京都地域創造基金 理事長)
14 : 50～15 : 20	事例報告「あいちコミュニティ財団の取り組み」
	報 告 者 木村真樹 (公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事)
15 : 20～15 : 50	事例報告「にいがたNPO基金の取り組み」
	報 告 者 近藤尚仁 (NPO法人くびき野NPOサポートセンター 事務局長)
15 : 50～16 : 00	休 憩
16 : 00～17 : 15	パネル・ディスカッション
17 : 15	閉 会

※17 : 30～18 : 30 交流会 (会費制)

※当日、13 : 00 より市民ファンド推進連絡会 2014 年度総会を同じ場所で開催します。オブザーバー参加が可能です。

7. 参加費

1,000 円 (定員は先着 50 名まで。定員になり次第締め切り)

8. 旅費の支援

市民ファンド関係者で遠方から参加される方については、市民社会創造ファンドの研修参加旅費助成制度で都市間往復旅費 (最寄りの駅または空港から、新横浜駅または羽田空港までの運賃) から 1 万円を差し引いた額の助成があります。希望される方は担当 : 山田まで TEL : 03-5623-5055 または電子メール : eyamada@civiltfund.orgにてご相談ください。

9. 申し込み先・問い合わせ先

申し込みは、所属名とお名前をお書き添えの上、以下の宛先に電子メールでお送りください。

NPO 法人市民社会創造ファンド 担当 : 武藤・坂本

TEL : 03-5623-5055 / 電子メール : rmutoh@civiltfund.org

<市民ファンド／市民ファンド推進連絡会とは>

市民ファンドとは新しい価値の創造や社会課題の解決のため、市民からの寄付を中心に、市民の活動に助成する、市民が主体的に設置・運営する仕組みと市民ファンド推進連絡会では定義しています。

市民ファンド推進連絡会は全国の市民ファンド及び中間支援組織の有志により、日本社会に市民ファンドを発展・普及させていくことを目的に 2011 年 7 月に設立しました。事務局は NPO 法人市民社会創造ファンドと認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンドに設置しています。